

■インストール時のご注意

すべてのアプリケーションを終了してから、本インストーラを実行してください。リアルタイムのウィルス監視機能が動作している場合は、一時的に停止することをお勧めします。また、Administrator、または管理者権限のあるユーザでログオンしてから実行してください。

■修正内容

[202012:SP16]

- ・ Alfatech製品の共通モジュールの更新
- ・ Windows 10(2004以降)で、ダイアログ内に文字の入力ができる欄がある場合、文字の入力できないことがある問題を修正しました。
- ・ 文字列編集の「行・列で編集」の設定が有効な場合において、90度回転させた文字列を選択し編集ダイアログに表示した際、表示状態がおかしい問題を修正しました。
- ・ [補助線]-[オフセット]において、ポリラインを指示した際に CAD がフリーズすることがある問題を修正しました。
- ・ [補助線]-[オフセット]において、斜め線に対しての作図ができないことがある問題を修正しました。
- ・ [補助線]-[補助線をライン化]において、操作中に残像が表示されることがある問題を修正しました。

[202009:SP15]

- ・ Alfatech製品の共通モジュールの更新
- ・ [文字列編集]において、外部エディタとして Excel を使う場合の設定を改良し、正常に編集が行えるようにしました。
- ・ [文字列編集]において、Windows 10(2004) でメモ帳などの外部エディタを使う場合にフリーズすることがある問題を修正しました。

[202004:SP14]

- ・ Alfatech製品の共通モジュールの更新
- ・ [補助線]-[削除]において、相対座標の設定の際、窓選択の1点目の座標が適切でない問題を修正しました。

[202001:SP13]

- ・ Alfatech製品の共通モジュールの更新
- ・ [文字列編集]でメモ帳を使用した場合、Windows 10(1903以降)での反映結果が文字化けすることがある問題を修正しました。

[201910:SP12]

- ・ Alfatech製品の共通モジュールの更新
- ・ マルチ引き出し線も尺度追従するように修正しました。

[201908:SP11]

- ・ Alfatech製品の共通モジュールの更新
- ・ 尺度変更の際、ハンコのサイズ、位置も追従するように修正しました。
- ・ バルーンコマンドの設定で文字高さの変更が反映されない問題を修正しました。

[201905:SP10]

- ・ Alfatech製品の共通モジュールの更新

[201904:SP9]

- ・ Alfatech製品の共通モジュールの更新

[201904:SP8]

(作図機能 : ベースCAD : BricsCAD V18)

- ・ Windows 10 でお使いの場合において、環境設定の設定内容が初期値に変わることがある問題を修正しました。
(補足)
環境内の設定ファイルの内容を %temp% 以下に一時保存しないで、メモリにキャッシュするように動作仕様を変更しました (Windows 10 対応)。
- ・ 溶接記号で「表面形状」と「仕上げ方法」を設定した場合、くつついて表示されるものがある問題を修正しました。
- ・ [BJ-M 環境設定] の [その他]-[C面取り寸法] において、“画層を指定”を選択し、任意の画層名での登録ができない問題を修正しました。

[201812:SP7]

- ・ Alfatech製品の共通モジュールの更新

[201810:SP6]

(作図機能)

- ・ 古い BricsCAD の対応のために Alfatech製品用に定義していた 0 コマンド、1 コマンドを廃止しました。

[201808:SP5]

(作図機能)

- ・ [仕上げ記号] において、回転角度の情報も設定ファイルに書き出すように修正しました。
- ・ [溶接記号] において、ベースCAD が BricsCAD V18.2 の場合、Enterキーを受け付けないことがある問題を修正しました。
- ・ [溶接記号] において、いくつかの項目が設定ファイルに書き込まれない問題を修正しました。
- ・ [溶接表示] において、[すみ肉溶接(正面図)] での作図操作でフェイタルエラーが発生することがある問題を修正しました。
- ・ 異尺画層へ移動した図形に対して [四辺一括入力] コマンドを実行した場合、異尺のスケールを参照しないで寸法が入力されることがある問題を修正しました。
- ・ [BJツール]-[補助線]-[オフセット] に “構築線で作画” という項目を追加しました。
- ・ ベースCAD のテンプレート設定が勝手に変わることがある問題を修正しました。
- ・ メニューバーの非表示ができない問題を修正しました。

[201804:SP4]

SP4 にて、BricsCAD V18.2.08 (32bit/64bit) 以降に対応しました。

(作図機能)

- ・ [溶接記号] において、操作によっては仕上げ方法の選択ができないことがある問題を修正しました。
- ・ [補助線]-[角度線入力] において、ポリラインが角度を参照する対象外になっている問題を修正しました。
- ・ [繰り返しの編集]-[回転] において、ベースCAD が BricsCAD V17.2 の場合のみ、回転角度を数字入力しても回転しない問題を修正しました。

[201802:SP3]

(作図機能)

- ・ 図枠転記で0.6倍の尺度が反映されることがある問題を修正しました。
- ・ [BJファイル]-[表題・尺度・図枠変更] から図枠の変更ダイアログを表示し、図枠名の欄のクリックによるソート操作を行うと、CAD が強制終了することがある問題を修正しました。

(管理ツール)

- ・ [場所の確認と変更] において、変更元フォルダに大量のファイルが存在する場合、変更先の適用に時間が掛かる問題を修正しました。

[201711:SP2]

SP2 にて、BricsCAD V18.1.05 (32bit/64bit) 以降に対応しました。

(作図機能)

- ・ベースCAD が BricsCAD の場合、[BJツール]-[補助線]-[オフセット] において、マイナス値での実行ができる問題を修正しました。

[201710:SP1]

(作図機能)

- ・[属性移動]において、ベースCAD が AutoCAD 2016 以下の場合にフェイタルエラーが発生する問題を修正しました。
- ・[文字入力]の“配列複写”において、入力可能な行数、または列数の欄が“0”の場合は OK ボタンが押せないように修正しました。
- ・[文字列編集]において、窓選択する際に PAN(画面移動)による移動を行うと、画面に表示されない文字列が選択から除外される問題を修正しました。
- ・バルーン作図で作図後、文字列を属性編集で編集した際、桁数が減った際に設定どおりの文字サイズに戻らないことがある問題を修正しました。
- ・ベースCAD が AutoCAD 2018 の場合、[文字高さクイック変更]での移動処理ができないことがある問題を修正しました。
- ・[表枠作成]に対して、ダミー文字列に対する文字の位置合わせの指定ができるように改良しました(左寄せ、中心、右寄せ)。
- ・ベースCAD が BricsCAD の場合において、非表示にしたツールバーが起動時に再表示されることがある問題を修正しました。
- ・ベースCAD が BricsCAD の場合において、ワークスペースを切り替えて、CAD の再起動後、メニューバーの末尾に同じ項目が 2つ表示されることがある問題を修正しました。
- ・ベースCAD が AutoCAD の場合において、プログラム側でズーム処理を行った時に TARGET システム変数を変更する問題を修正しました。

ご不明な点につきましては、弊社サポートまでご連絡ください。
宜しくお願い致します。

図研アルファテック株式会社
(E-mail support@bj-soft.jp)
<http://www.bj-soft.jp/>